

仕様伺書

対象形式：PSN1G

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		機 番			
お 名 前		営業担当			
注 番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。
標準設定値とは、一切のご指定がないときの値です。

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	コメント
------	-----------	-------	------

■ハードウェアによる設定項目（端子カバーを外し、内部のSWにて設定します。）

作動	<input type="checkbox"/> 正作動 <input type="checkbox"/> 逆作動	逆作動	逆作動に選定時、入力信号減少で出力軸は下降します。
入力信号異常低下時の動作	<input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> 下降	停止	

■ハードウェアまたはソフトウェアによる設定項目：逆作動時の場合
（カバー内部のSW またはプログラミングユニットにて設定します。）

全閉位置（下降端） 86～106 mm	mm	106 mm	出力軸下降時のヨーク取付面から出力軸先端までの寸法です。
全開位置（上昇端） 86～106 mm	mm	86 mm	出力軸上昇時のヨーク取付面から出力軸先端までの寸法です。 [下降] < [上昇] になるような設定はできません。
出荷時出力軸位置 86～106 mm	mm	86 mm	出荷時のヨーク取付面から出力軸先端までの寸法です。

■ソフトウェアによる設定項目（プログラミングユニットにて設定します。）

下降位置（全閉位置）*1 0～92%、0.1%単位	%	5%	逆作動時の場合
上昇位置（全開位置）*1 8～100%、0.1%単位	%	95%	逆作動時の場合
下降側リミッタ -5～+25%、0.1%単位	%	0%	
上昇側リミッタ 75～105%、0.1%単位	%	100%	
開閉速度設定値 —	—	25	
不感帯設定値 0.1～5%、0.1%単位	%	0.1%	
再起動制限タイマ 0～30s、0.1s単位	s	0.1s	

* 1、下降位置、上昇位置で設定したストローク（20 mm）を100%として指定します。

仕様伺書作成の手引き

■分解能とは【不感帯設定値により変化します】

入力信号に対し出力軸が動作します。入力信号が 4～20 mA DC の場合、0.016 mA DC 単位で出力軸が追随動作し、往復（上昇⇔下降）時も 0.016 mA DC 以内で合計 1000 回出力軸が動作すれば分解能特性 0.1 % となります。

■入力信号異常低下時の出力軸動作について

電源電圧が印加されている状態で、入力信号の値が低下した場合、出力軸の動作を選択できます。

入力信号が 1.48（± 0.4）mA DC 以下になった場合、出力軸が「その場で停止」・「上昇位置（全開位置）まで自動で動作」・「下降位置（全閉位置）まで自動で動作」の 3 種のモードから選択し設定できます。

■再起動制限タイマ機能について

入力信号の値が頻繁に変化している場合（過頻度・ハンチング現象など）、出力軸も頻繁に動作します。過頻度により製品自体の寿命が低下しないように設定が可能です。入力信号の指示値に出力軸が到達停止してからの停止時間を可変設定ができます。（0～30 秒間の可変域があります。）

動作時間と停止時間の割合を平均値として 50 % 以内とし、動作するように可変設定して下さい。動作頻度とは、13 ストローク未満/1 分間を目安とし、これを超える場合を「過頻度」とします。